

R3年度 鳥羽志摩中学校夏季総合体育大会(バレーボールの部)

1. 日時 : 7月17日(土) 予備日 7月18日(日)
2. 会場 : 鳥羽東中学校 開会式 8:40 (開館 7:50)
3. 使用球 : 人工皮革4号検定球カーボール(ミカサ)

4. 責任者

総務	競技	審判	会場	会長	養護	専門部長
上村 加茂中	中山 志摩中	東 文岡中	前田 鳥羽東中	東 鳥羽東中	松尾 鳥羽東中	上村 加茂中

5. ルール : 2021年度(財)日本バレーボール協会制定の6人制規則に則る。

6. 競技方法 :
 - ・全試合3セットマッチとし、トーナメント戦で行う。
 - ・ベンチ入りは、監督、コーチ1名、マネージャー1名、選手15名以内とする。
 - ・監督、コーチは当該学校の教職員とする。ただし、学校長が認めた外部コーチ(継続的に指導にあたり、教育的配慮のできる社会人)のベンチ入りを認める。その際申請書を提出する。マネージャーは当該学校の教職員または生徒とする。
 - ・監督、コーチ、マネージャー、主将は規定のマークを所定の位置に付ける。
なお、監督、コーチは服装を統一することが望ましい。
 - ・審判・ラインジャッジ・点示・記録・アシスタントスコアラーは審判の割り当て表の通りに行う。
 - ・コートが濡れた場合は、基本的にコート内の選手がリベンジをする。(タオルを持たせる。)モップが必要な場合は、副審の指示のもとベンチの選手で行う。
 - ・試合(IF)終了後、5分間の合同練習を行う。その後にプロトコール。試合が連続するときは、15分の休憩をとる。
 - ・開閉会式においては、選手はユニホームで、マネージャーはジャージで整列する。
 - ・各セットのどちらかのチームが13点とったらウォーターブレイク(30秒)をとる。

7. 組み合わせ : 別紙

8. 新型コロナウイルス感染防止について : 別紙

9. その他 :
 - ・表彰は、優勝・準優勝(表彰必要枚数2枚)とする。
 - ・優秀選手は、優勝チームから4名、準優勝チームから3名、3位チームから各1名、他チームから1名の計10名を選出する。
 - ・急病やケガが発生した場合には、救護担当者が応急処置を施すが、その後は顧問や引率者で速やかに医療機関へ移送する。・貴重品や荷物は各チームで責任を持って管理する。
 - ・ゴミは各チームで責任を持って持ち帰る。
 - ・この大会の優勝校には、7月31日、8月1日にサンアリーナで行われる三重県中学校バレーボール大会の出場権を与える。準優勝校には7月24日に玉城中で行われる南部ブロックプレーオフ大会の出場権を与える。

令和3年度中体連夏季大会新型コロナウイルス感染症対策資料

- 生徒の参加については、選手、マネージャーなどの役割がある生徒のみ参加を認め、その他大会運営のための役割のない生徒については帯同させない。
- 保護者の応援は3年生の生徒1名に対して保護者1名までとする。ただし小学校3年生以下の同伴は認める。
- 来場した保護者には事前に渡した健康チェック表を持参してもらう。忘れた場合は受付にて体調チェックをしてもらう。来場した学校関係者には、受付にて健康チェックをしてもらう。
- 試合を行っているチームの保護者、学校関係者のみ、会場での観戦を行うことができる。それ以外のチームの保護者は、屋外で待機する。
- 屋外で待機している保護者は、屋内の玄関フロアが密にならないように試合の進行を確認する人を決めるなどの配慮をしてもらう。
- 参加選手、顧問、帯同審判は、朝の検温を行う。各チーム顧問は、生徒が集合した時点での体調チェックを行う（健康調査一覧表を記入し本部に提出する）。体調がよくない場合（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）は保護者に連絡し、迎えに来てもらい帰宅させる。また、前日から体調がよくない場合は無理をさせない。
- 会場の換気は、窓を常に開けておく。ただし風が強いなど開けておくことが難しい場合は、試合の間などの時間を使って換気を行う。
- 試合をしている選手以外は、基本的にマスクを着用する。試合中、選手は基本的にマスクを外してプレーをする（マスク着用でも構わない）。
- 選手およびベンチスタッフとも、手洗い、うがい、手指消毒をこまめに行う。
- 記録を担当する選手は、自分の筆記用具を持参する。ラインナップチケットは記録席の筆記用具を使わず、ベンチで書いて提出すること。
- 試合開始と終了時にネットを挟んでの握手は行わず、アタックラインで止まり、礼をする。また、プロトコール時に、審判団との握手や主将同士の握手は行わない。
- セット間、タイムアウト時にボールのアルコール消毒を行う。ラインフラッグと得点板は、試合間にアルコール消毒を行う。
- 試合中、ベンチにいる監督、コーチおよび控え選手は、マスクを着用し距離をとって着席し、監督・コーチ・マネージャーおよび選手は、大きな声での指示や応援は控える。（指示は監督のみで、選手の応援は拍手程度とする）。観客も、声を出しての応援は控える。
- 体が接触するような円陣、ハイタッチなどの応援は控える。
- 水分補給用のドリンクは、各自で用意し試合中であっても回し飲みなどをしないようにする。
- 新型コロナウイルス感染症の感染状況や社会情勢によっては、延期や中止の判断、その他さらなる制約を設ける場合がありうる。さまざまな理由で、参加ができなくなったチームが出てきた場合は、その対戦相手は不戦勝として、大会は行う。